



# **BEA**WebLogic Integration™

## **WebLogic Integration Worklist ユーザーズ ガイド**

## 著作権

Copyright © 2002, BEA Systems, Inc. All Rights Reserved.

## 限定的権利条項

本ソフトウェアおよびマニュアルは、**BEA Systems, Inc.** 又は日本ビー・イー・エー・システムズ株式会社（以下、「**BEA**」といいます）の使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができ、同契約の条項通りにのみ使用またはコピーすることができます。同契約で明示的に許可されている以外の方法で同ソフトウェアをコピーすることは法律に違反します。このマニュアルの一部または全部を、**BEA Systems, Inc.** からの書面による事前の同意なしに、複写、複製、翻訳、あるいはいかなる電子媒体または機械可読形式への変換も行うことはできません。

米国政府による使用、複製もしくは開示は、**BEA** の使用許諾契約、および FAR 52.227-19 の「Commercial Computer Software-Restricted Rights」条項のサブパラグラフ (c)(1)、DFARS 252.227-7013 の「Rights in Technical Data and Computer Software」条項のサブパラグラフ (c)(1)(ii)、NASA FAR 補遺 16-52.227-86 の「Commercial Computer Software--Licensing」条項のサブパラグラフ (d)、もしくはそれらと同等の条項で定める制限の対象となります。

このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更されることがあり、また **BEA** による責務を意味するものではありません。本ソフトウェアおよびマニュアルは「現状のまま」提供され、商品性や特定用途への適合性を始めとする（ただし、これらには限定されない）いかなる種類の保証も与えません。さらに、**BEA** は、正当性、正確さ、信頼性などについて、本ソフトウェアまたはマニュアルの使用もしくは使用結果に関していかなる確約、保証、あるいは表明も行いません。

## 商標または登録商標

**BEA**、**Jolt**、**Tuxedo**、および **WebLogic** は **BEA Systems, Inc.** の登録商標です。**BEA Builder**、**BEA Campaign Manager for WebLogic**、**BEA eLink**、**BEA Manager**、**BEA WebLogic Commerce Server**、**BEA WebLogic Enterprise**、**BEA WebLogic Enterprise Platform**、**BEA WebLogic Express**、**BEA WebLogic Integration**、**BEA WebLogic Personalization Server**、**BEA WebLogic Platform**、**BEA WebLogic Portal**、**BEA WebLogic Server**、**BEA WebLogic Workshop** および **How Business Becomes E-Business** は、**BEA Systems, Inc** の商標です。

その他の商標はすべて、関係各社が著作権を有します。

## **WebLogic Integration Worklist ユーザーズ ガイド**

パート番号	日付	ソフトウェアのバージョン
なし	2002年6月	7.0

---

# 目次

## このマニュアルの内容

対象読者.....	v
e-docs Web サイト.....	vi
このマニュアルの印刷方法.....	vi
関連情報.....	vi
サポート情報.....	vii
表記規則.....	vii

## 1. Worklist の起動と終了

Worklist の起動.....	1-1
Worklist の終了.....	1-3
WebLogic Integration サーバからのログオフ.....	1-4
WebLogic Integration サーバへのログオン.....	1-4

## 2. タスクを使った作業

Worklist タスクの概要.....	2-1
タスク プロパティの変更.....	2-2
タスクの実行.....	2-4
タスク ステータスの変更.....	2-4
タスク ステータスを実行済みに変更.....	2-4
タスク ステータスを保留中に変更.....	2-5
タスクの再割り当て.....	2-5

## 3. ワークフローを使った作業

ワークフローの開始.....	3-1
ワークフロー ステータスの表示.....	3-3

## 4. ワークフローのカスタマイズ

タスク ステータスを使った作業.....	4-1
タスク ステータスの更新.....	4-1
表示するタスク ステータス カテゴリの選択.....	4-2
表示するカラム見出しの選択.....	4-2

---

タスクのソート順の選択 .....	4-3
表示オプションの選択 .....	4-4

## **5. ツールを使った作業**

ログオン タスク ステータスの表示 .....	5-1
タスク オプションの指定 .....	5-2

## **索引**

---

# このマニュアルの内容

このマニュアルでは、WebLogic Integration Worklist コンソールの使用方法について説明します。

**注意：** Worklist クライアントは、このリリースの WebLogic Integration から非推奨になっています。これに代わる機能の詳細は、『*BEA WebLogic Integration リリース ノート*』を参照してください。

このマニュアルの内容は以下のとおりです。

- 第 1 章「Worklist の起動と終了」では、Worklist の起動と終了、および WebLogic Integration サーバの切断と再接続に関する手順について説明します。
- 第 2 章「タスクを使った作業」では、Worklist のタスク機能について説明します。
- 第 3 章「ワークフローを使った作業」では、ワークフロー機能について説明します。
- 第 4 章「ワークフローのカスタマイズ」では、Worklist の表示と動作をカスタマイズする方法について説明します。
- 第 5 章「ツールを使った作業」では、ユーザが使用できる Worklist ツールについて説明します。

## 対象読者

このマニュアルは、ワークフロー タスクを実行するユーザを対象としています。

---

# e-docs Web サイト

BEA 製品のドキュメントは、BEA Systems, Inc. の Web サイトで入手できます。BEA のホーム ページで [製品のドキュメント] をクリックするか、または「e-docs」という製品ドキュメント ページ (<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/index.html>) を直接表示してください。

## このマニュアルの印刷方法

Web ブラウザの [ファイル | 印刷] オプションを使用すると、Web ブラウザからこのマニュアルを一度に 1 ファイルずつ印刷できます。

このマニュアルの PDF 版は、Web サイトで入手できます。WebLogic IntegrationPDF を Adobe Acrobat Reader で開くと、マニュアルの全体（または一部分）を書籍の形式で印刷できます。PDF を表示するには、WebLogic Integration ドキュメントのホーム ページを開き、[PDF 版] ボタンをクリックして、印刷するマニュアルを選択します。

Adobe Acrobat Reader がない場合は、Adobe の Web サイト (<http://www.adobe.co.jp/>) で無料で入手できます。

## 関連情報

以下の WebLogic Integration ドキュメントには、この製品の使用に関連した情報が含まれています。

- *BPM ユーザーズ ガイド*
- *WebLogic Integration Studio ユーザーズ ガイド*

---

# サポート情報

WebLogic Integration のドキュメントに関するユーザからのフィードバックは弊社にとって非常に重要です。質問や意見などがあれば、電子メールで [docsupport-jp@beasys.com](mailto:docsupport-jp@beasys.com) までお送りください。寄せられた意見については、WebLogic Integration のドキュメントを作成および改訂する BEA の専門の担当者が直に目を通します。

電子メールのメッセージには、ご使用の WebLogic Integration ドキュメントのリリース番号をお書き添えください。

本バージョンの WebLogic Integration Worklist について不明な点がある場合、または Worklist のインストールおよび動作に問題がある場合は、BEA WebSupport (<http://websupport.bea.com/custsupp>) を通じて BEA カスタマサポートまでお問い合わせください。カスタマサポートへの連絡方法については、製品パッケージに同梱されているカスタマサポート カードにも記載されています。

カスタマサポートでは以下の情報をお尋ねしますので、お問い合わせの際はあらかじめご用意ください。

- お名前、電子メール アドレス、電話番号、ファクス番号
- 会社の名前と住所
- お使いの機種とコード番号
- 製品の名前とバージョン
- 問題の状況と表示されるエラー メッセージの内容

## 表記規則

このマニュアルでは、全体を通して以下の表記規則が使用されています。

表記法	適用
[Ctrl] + [Tab]	複数のキーを同時に押すことを示す。
<i>斜体</i>	強調または書籍のタイトルを示す。
等幅テキスト	コード サンプル、コマンドとそのオプション、データ構造体とそのメンバー、データ型、ディレクトリ、およびファイル名とその拡張子を示す。等幅テキストはキーボードから入力するテキストも示す。 <i>例</i> #include <iostream.h> void main ( ) the pointer psz chmod u+w * \tux\data\ap .doc tux.doc BITMAP float
<i>斜体の等幅テキスト</i>	コード内の変数を示す。 <i>例</i> String expr
すべて大文字のテキスト	デバイス名、環境変数、および論理演算子を示す。 <i>例</i> LPT1 SIGNON OR
{ }	構文の中で複数の選択肢を示す。実際には、この括弧は入力しない。
[ ]	構文の中で任意指定の項目を示す。実際には、この括弧は入力しない。 <i>例</i> buildobjclient [-v] [-o name ] [-f file-list]...[-l file-list]...

表記法	適用
	構文の中で相互に排他的な選択肢を区切る。実際には、この記号は入力しない。
...	<p>コマンドラインで以下のいずれかを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 引数を複数回繰り返すことができる。</li> <li>■ 任意指定の引数が省略されている。</li> <li>■ パラメータや値などの情報を追加入力できる。</li> </ul> <p>実際には、この省略記号は入力しない。</p> <p>例</p> <pre>buildobjclient [-v] [-o name ] [-f file-list]...[-l file-list]...</pre>
.	<p>コード サンプルまたは構文で項目が省略されていることを示す。</p> <p>実際には、この省略記号は入力しない。</p>



---

# 1 Worklist の起動と終了

**注意：** Worklist クライアントは、このリリースの WebLogic Integration から非推奨になっています。これに代わる機能の詳細は、『*BEA WebLogic Integration リリース ノート*』を参照してください。

Worklist コンソールを起動および終了する方法と、WebLogic Integration サーバを切断および再接続する方法について、以下の節で説明します。

- Worklist の起動
- Worklist の終了
- WebLogic Integration サーバからのログオフ
- WebLogic Integration サーバへのログオン

## Worklist の起動

Worklist を起動するには、次の手順を実行します。

1. 以下のいずれか 1 つを実行します。
  - Windows システムでは、[ スタート | プログラム | BEA WebLogic Platform 7.0 | WebLogic Integration 7.0 | Worklist ] の順に選択します。
  - UNIX システムの場合は、`WLI_HOME/bin` ディレクトリで `[worklist]` コマンドを実行します。

たとえば、WebLogic Integration を `/home/bean/weblogic700/integration` ディレクトリにインストールした場合、次のように入力します。

```
cd /home/bean/weblogic700/integration/bin
. ./worklist
```

[WebLogic Integration へのログオン] ダイアログ ボックスが表示されます。

図 1-1 [WebLogic Integration へのログオン] ダイアログ ボックス



2. [ユーザ名] フィールドにユーザ名を入力します。
3. [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
4. [サーバ URL (プロトコル: ホスト: ポート)] フィールドで、WebLogic Integration サーバを稼働させるシステムを次のように指定します。

t3://host:7001

*host* は、WebLogic Integration サーバを稼働させるシステムのコンピュータ名または IP アドレスです。サーバが Worklist と同じコンピュータ上で稼働しているときは localhost と指定します。

5. [OK] ボタンをクリックします。Worklist が表示されます。

図 1-2 Worklist のメイン ウィンドウ



[ユーザ ID] タブと [ロール] タブに表示される情報は、選択したオーガニゼーションによって異なります。1つのオーガニゼーションでさまざまなビジネス エンティティや地理的な位置を表すことができます。ツールバーの右側にあるドロップダウンリストを使用して、自分が属する全オーガニゼーションに関するタスク情報を表示します。

## Worklist の終了

Worklist コンソールを終了するには、メニュー バーから [ファイル (F) | 終了 (X)] を選択します。保存されていない変更内容が自動的に保存されます。

# WebLogic Integration サーバからのログオフ

WebLogic Integration サーバからログオフするには、メニュー バーから [ファイル (F) | ログオフ (O)] を選択します。メイン ウィンドウ上のツールバー アイコンおよび [タスク (T)] と [ヘルプ (H)] を除くすべてのメニューが無効になります。また、Worklist コンソールが WebLogic Integration サーバから切断されます。

# WebLogic Integration サーバへのログオン

ログオフした後で WebLogic Integration サーバに再接続する手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから [ファイル (F) | ログオン (L)] を選択します。[WebLogic Integration へのログオン] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [ユーザ名] フィールドにユーザ名を入力します。
3. [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
4. [サーバ URL (プロトコル: ホスト: ポート)] フィールドで、WebLogic Integration サーバを稼働させるシステムを次のように指定します。

`t3://host:7001`

`host` は、WebLogic Integration サーバを稼働させるシステムのコンピュータ名または IP アドレスです。サーバが Worklist と同じコンピュータ上で稼働しているときは `localhost` と指定します。

5. [OK] ボタンをクリックします。[Worklist] ウィンドウが表示されます。

---

## 2 タスクを使った作業

**注意：** Worklist クライアントは、このリリースの **WebLogic Integration** から非推奨になっています。これに代わる機能の詳細は、『*BEA WebLogic Integration リリース ノート*』を参照してください。

Worklist タスクを使用した作業方法について、以下の節で説明します。

- Worklist タスクの概要
- タスクプロパティの変更
- タスクの実行
- タスクステータスの変更
- タスクの再割り当て

### Worklist タスクの概要

**WebLogic Integration Studio** を使用して、ワークフローのタスクを最初に定義するとき、そのタスクに対して特定のパーミッションを設定します。このパーミッションにより、ワークフロー内の特定タスクを使用して実行できるアクションが決まります。詳細については、『*WebLogic Integration Studio ユーザーズガイド*』を参照してください。

Worklist には、以下の 3 種類のタスク パーミッションがあります。

- [ ユーザ ] タスクは特定のユーザ ID に割り当てられます。指定されたユーザだけが、そのタスクを実行できます。ただし、そのユーザが別のユーザにタスクを再割り当てすることもできます（再割り当てを実行できるのは、ユーザが再割り当てパーミッションを持つ場合に限られます）。

**注意：** メイン ウィンドウに表示される最初のタブは [ ユーザ ID ] タブです。ここには、自分のユーザ ID に割り当てられたタスクが表示されます。

- [ロール内のユーザ] – タスクはロールに割り当てられます。ロールとは、個人（バイヤやスーパーバイザなど）のグループによって共有される責任、能力、または許可レベルの共通領域のことです。

ユーザは任意の数のロールに所属できます。その場合、各ロールはタブで表され、メイン ウィンドウで [ユーザ ID] タブの右側に表示されます。ロールに含まれるタスクを実行できるのは、そのロールに属するユーザに限られます。そのロールのメンバーならば、誰でもそのロールに割り当てられたタスクを受けて実行できます。

- [ロール内のユーザ] – タスクは、ロールに属する任意のユーザに対して割り当てられます。選択されたロールに属するユーザの中から、実行担当タスクが最も少ないユーザに対して自動的にタスクが割り当てられます。

## タスク プロパティの変更

タスクのプロパティを変更する手順は次のとおりです。

1. [ユーザ ID] タブまたは該当する [ロール] タブで、プロパティを変更するタスクを選択します。
2. メニュー バーから [タスク (T) | プロパティ (P)] を選択します。[タスクのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。

図 2-1 [タスクのプロパティ] ダイアログ ボックス



3. [優先度] ドロップダウン リストから、該当するタスクの優先度を選択します。
4. 以下のタスク パーミッションから任意の数のチェックボックスを選択します。
  - [実行時に変更] – ユーザがタスク パーミッションを変更できるかどうかを指定します。このパーミッションが設定されていないユーザは [タスクのプロパティ] ダイアログ ボックスで他のパーミッションを選択できません。
  - [実行せずに完了マークを付ける] – ユーザがタスクのステータスを実行済みに変更できるかどうかを指定します。
  - [完了マークがあれば再実行] – タスクがすでに完了しているときでも、ユーザがそのタスクを実行できるかどうかを指定します。
  - [完了マークがあれば外す] – ユーザがタスクのステータスを保留中に変更できるかどうかを指定します。
  - [実行時に再割り当て] – ユーザがタスクの再割り当てを実行できるかどうかを指定します。

5. [OK] ボタンをクリックしてプロパティの変更内容を保存し、ダイアログボックスを閉じます。

# タスクの実行

実行できるタスクは、保留中でかつ自分に割り当てられたタスク、自分が所属するロールに割り当てられたタスク、またはロールに属する任意のユーザーに割り当てられたタスクに限られます。

タスクを実行する手順は次のとおりです。

1. [ユーザ ID] タブまたは該当する [ロール] タブで、実行するタスクを選択します。
2. メニュー バーから [タスク (T) | 実行 (E)] を選択します。

実際にタスクによって実行される処理は、ワークフロー設計時点でのタスクの定義によって決まります。詳細については、『*WebLogic Integration Studio ユーザーズガイド*』を参照してください。

# タスク ステータスの変更

タスクのステータスは、保留中から実行済み、または実行済みから保留中に変更できます。

# タスク ステータスを実行済みに変更

タスクのステータスを保留中から実行済みに変更する手順は次のとおりです。

1. [ユーザ ID] タブまたは該当する [ロール] タブで、変更するタスクを選択します。
2. メニュー バーから [タスク (T) | 完了マークを付ける (M)] を選択します。

タスクのステータスを実行済みに変更すると、タスク完了日付に現在の日付が設定され、実行済みフラグが付いたタスクのイベントに対して定義されているアクションが実行されます。タスクのステータスを実行済みに変更できるかどうかは、[タスクのプロパティ]ダイアログ ボックスで設定したパーミッションによって決まります。詳細については、「タスク プロパティの変更」を参照してください。

## タスク ステータスを保留中に変更

タスクのステータスを実行済みから保留中に変更する手順は次のとおりです。

1. [ユーザ ID] タブまたは該当する [ロール] タブで、変更するタスクを選択します。
2. メニュー バーから [タスク (T) | 完了マークを外す (U)] を選択します。

タスクのステータスを保留中に変更すると、タスク完了日付が消去されます。このアクションは、完了していないタスクには影響しません。タスクのステータスを保留中に変更できるかどうかは、[タスクのプロパティ]ダイアログ ボックスで設定したパーミッションによって決まります。詳細については、「タスク プロパティの変更」を参照してください。

## タスクの再割り当て

タスクの再割り当ては、以下の場合に限られます。

- 現在該当するタスクが自分に割り当てられている場合、自分が属するロールに割り当てられている場合、またはロールに属する任意のユーザに割り当てられている場合。
- [タスクのプロパティ]ダイアログ ボックスで、タスク再割り当てパーミッションが設定されている場合。詳細については、「タスク プロパティの変更」を参照してください。

タスクを再割り当てする手順は次のとおりです。

1. [ ユーザ ID ] タブまたは該当する [ ロール ] タブで、再割り当てするタスクを選択します。
2. メニュー バーから [ タスク (T) | 再割り当て (R) ] を選択します。[ タスクの再割り当て ] ダイアログ ボックスが表示されます。

図 2-2 [ タスクの再割り当て ] ダイアログ ボックス



3. 再割り当ての対象に応じて、以下に示す手順のいずれかを選択します。  
別のユーザに対して再割り当てする手順は次のとおりです。
  - a. [ ユーザ ] ラジオ ボタンをクリックします。
  - b. タスクを含むワークフローと関連付けられているものと同じオーガニゼーションの [ 割り当て対象 ] ドロップダウン リストで、別のユーザを選択します。タスクが割り当てられている ロールに属するユーザに対して再割り当てする手順は次のとおりです。
  - a. [ ロール ] ラジオ ボタンをクリックします。
  - b. タスクを含むワークフローと関連付けられているものと同じオーガニゼーションの [ 割り当て対象 ] ドロップダウン リストで、ロールを選択します。ロールに属するユーザに対して再割り当てする手順は次のとおりです。

- a. [ ロール内のユーザ ] ラジオ ボタンをクリックします。
  - b. [ 割り当て対象 ] ドロップダウン リストでロールを選択します。実行時には、そのロールに属するユーザの中から、現在割り当てられているタスク数の最も少ないユーザに対して自動的にタスクが割り当てられ、負荷が分散されます。
4. [OK] ボタンをクリックして、再割り当ての変更内容を保存し、ダイアログボックスを閉じます。



---

## 3 ワークフローを使った作業

**注意：** Worklist クライアントは、このリリースの **WebLogic Integration** から非推奨になっています。これに代わる機能の詳細は、『*BEA WebLogic Integration リリース ノート*』を参照してください。

Worklist ワークフローを使用した作業方法について、以下の節で説明します。

- ワークフローの開始
- ワークフロー ステータスの表示

### ワークフローの開始

ワークフローを開始する手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから [ワークフロー (W) | ワークフローを開始 (S)] を選択します。[ワークフローを開始] ダイアログ ボックスが表示されます。

図 3-1 [ワークフローを開始] ダイアログ ボックス



2. [オーガニゼーションを選択] ドロップダウン リストから、開始するワークフローに関連するオーガニゼーションを選択します。このリストには、ユーザが所属するオーガニゼーションがすべて表示されます。
3. 開始するワークフローを [開始するワークフローを選択] スクロール リストから選択します。このリストには、ユーザが手動で開始して使用できるすべてのワークフロー テンプレート 定義が表示されます。手動で開始するワークフローは、設計時にアクティブかつ手動開始対象として定義します。
4. [OK] ボタンをクリックして、ワークフローを開始します。開始中に実行される処理は、設計時に作成されたワークフローの定義によって異なります。詳細については、『*WebLogic Integration Studio ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

ワークフローが正常に開始すると、確認ダイアログ ボックスが表示されます。

図 3-2 [確認] ダイアログ ボックス



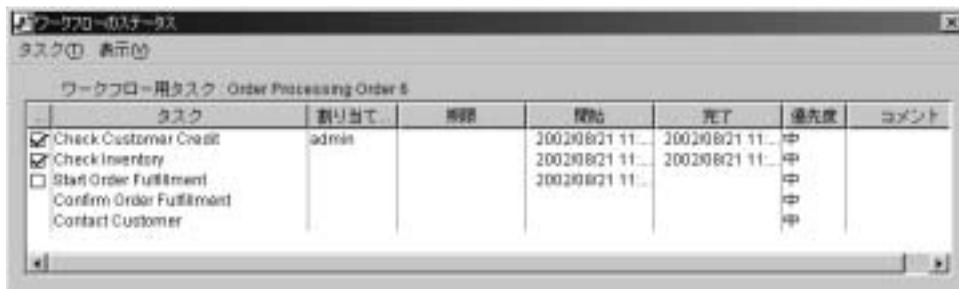
5. [了解] ボタンをクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。

## ワークフロー ステータスの表示

選択したタスクのワークフローと関連するすべてのタスクのステータスを表示する手順は次のとおりです。

1. [ユーザ ID] タブまたは該当する [ロール] タブで、ワークフロー ステータスを表示するタスクを選択します。
2. メニュー バーから [ワークフロー (W) | ワークフロー ステータス (S)] を選択します。[ワークフローのステータス] ダイアログ ボックスが表示されます。

図 3-3 [ワークフローのステータス] ダイアログ ボックス



### 3 ワークフローを使った作業

---

必要に応じて、[タスク] カラム内にリストされる任意のタスクを右クリックします。ポップアップメニューに、そのタスクを使用して実行できるすべてのアクションが表示されます。

---

## 4 ワークフローのカスタマイズ

**注意：** Worklist クライアントは、このリリースの WebLogic Integration から非推奨になっています。これに代わる機能の詳細は、『*BEA WebLogic Integration リリース ノート*』を参照してください。

Worklist の表示と動作をカスタマイズする方法について、以下の節で説明します。

- タスク ステータスを使った作業
- 表示するカラム見出しの選択
- タスクのソート順の選択
- 表示オプションの選択

### タスク ステータスを使った作業

タスクのステータスを更新したり、[ ユーザ ID ] タブや [ ロール ] タブに表示するタスク ステータスのカテゴリを選択できます。

### タスク ステータスの更新

メニューバーから [ 表示 (V) | 最新の情報に更新 (F5)(R) ] を選択すると、[ ユーザ ID ] タブおよび [ ロール ] タブに表示されるすべてのタスク ステータスが更新されます。

## 表示するタスク ステータス カテゴリの選択

[ ユーザ ID ] タブおよび [ ロール ] タブに表示するタスク ステータス カテゴリを選択する手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから [ 表示 (V) ] を選択します。タスク ステータスに対応した [ 保留中 (P) ]、[ 完了 (D) ]、および [ 非アクティブ (I) ] チェックボックスのリストが表示されます。
2. 表 4-1 を使用して、表示するタスク ステータス カテゴリから任意の数のチェックボックスを選択します。選択したステータス カテゴリに基づいて、タスクが [ ユーザ ID ] タブおよび [ ロール ] タブ上に表示されます。

表 4-1 表示対象のタスク ステータス カテゴリ

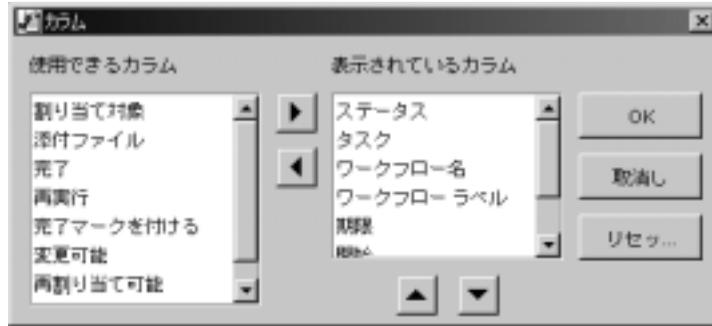
ステータス カテゴリ	説明
[ 保留中 (P) ]	まだ実行されていない保留中のタスク
[ 完了 (D) ]	実行済みのタスク
[ 非アクティブ (I) ]	ワークフロー内で開始されていない非アクティブなタスク

## 表示するカラム見出しの選択

[ ユーザ ID ] タブおよび [ ロール ] タブに表示するカラム見出しを選択する手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから [ 表示 (V) | カラム (C) ] を選択します。[ カラム ] ダイアログ ボックスが表示されます。

図 4-1 [カラム]ダイアログ ボックス



2. [使用できるカラム]または[表示されているカラム]のスクロール リストから、カラムの見出しを選択します。
3. 該当する矢印をクリックします。選択した見出しのステータスが、[使用できるカラム]から[表示されているカラム]、または[表示されているカラム]から[使用できるカラム]に変わります。

**注意：** [ステータス]カラム見出しは表示するタスク ステータス カテゴリを選択するために、必ず表示される必要があります。詳細については、「表示するタスク ステータス カテゴリの選択」を参照してください。

4. 該当する矢印をクリックします。スクロール リスト内で選択肢の位置を上または下に移動します。リスト内で表示されるカラムの位置（上から下）によって、[ユーザ ID]タブおよび[ルール]タブ上のカラム見出しの位置（左から右）が決まります。
5. [OK] ボタンをクリックして、カラム見出しの変更内容を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。

## タスクのソート順の選択

[ユーザ ID] タブおよび[ルール] タブ上のタスクのソート順を選択する手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから [表示 (V) | ソート (S)] を選択します。[ ユーザ ID] タブおよび [ ロール] タブに表示されるカラム見出しに対応したラジオ ボタンのリストが表示されます。
2. タスクのソートで使用するカラム見出しのラジオ ボタンを選択します。

**注意:** 選択したカラム見出しを基準にタスクを昇順でソートするには、[ 昇順] チェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択しないと、[ ユーザ ID] タブおよび [ ロール] タブのタスクは降順でソートされます。

## 表示オプションの選択

Worklist コンソールに関する表示オプションを選択する手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから [表示 (V) | ルック & フィールド (L)] の順に選択します。使用可能なさまざまなユーザ環境に対応したラジオ ボタンのリストが表示されます。
2. Worklist コンソールに表示するユーザ環境のラジオ ボタンを選択します。

---

## 5 ツールを使った作業

**注意：** Worklist クライアントは、このリリースの **WebLogic Integration** から非推奨になっています。これに代わる機能の詳細は、『*BEA WebLogic Integration リリース ノート*』を参照してください。

Worklist ツールの使用方法について、以下の節で説明します。

- ログオン タスク ステータスの表示
- タスク オプションの指定

### ログオン タスク ステータスの表示

ログオン タスク ステータスを表示する手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから [ツール (O)] を選択します。[ログオン ステータスを表示 (L)] チェックボックスが表示されます。
2. このチェックボックスを選択し、ログオン タスク ステータスを表示します。この機能を有効にすると、ログオン中は [Worklist Status] ダイアログ ボックスに、保留中のタスクと期限切れのタスクの数が表示されます。

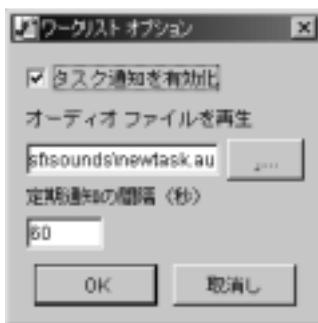
**注意：** ログオン タスク ステータスの表示を有効/無効にするためのパーミッションは、[タスクのプロパティ] ダイアログ ボックスで設定します。詳細については、「タスク プロパティの変更」を参照してください。

## タスク オプションの指定

タスク オプションを指定する手順は次のとおりです。

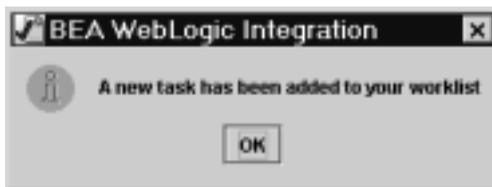
1. メニュー バーから [ツール (O) | オプション (N)] を選択します。[ワークリスト オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。

図 5-1 [ワークリスト オプション] ダイアログ ボックス



2. Worklist のコンフィグレーション オプションは以下のとおりです。
  - [タスク通知を有効化] チェックボックスを選択すると、ユーザに新しいタスクが割り当てられたときに自動で通知されます。ユーザが新しいタスクを受け取ると、下記の通知ダイアログ ボックスが表示されます。

図 5-2 [新しいタスクの通知] ダイアログ ボックス



- [オーディオファイルを再生] フィールドに WAV ファイルまたは AU ファイル名を指定すると、タスク通知を受信したときにそのファイルが再生されます。

システム内のオーディオ ファイルを参照するには、[オーディオ ファイルを再生] フィールドの右側にあるボタンをクリックします。次に、使用するオーディオ ファイルを選択します。

- [定期通知の間隔 (秒)] フィールドに、タスク通知を連続して行う頻度を指定できます。たとえば、仕事の邪魔にならないように、通知間隔を 5 分より長く設定できます。
3. [OK] ボタンをクリックして、オプションの変更内容を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。



# 索引

## E

e-docs Web サイト vi

## W

Worklist タスクの概要 2-1

Worklist の起動 1-1

Worklist へのログオン 1-1

## い

印刷、製品のマニュアル vi

## か

開始、ワークフロー 3-1

カスタマ サポート情報 vii

関連情報 vi

## き

起動、Worklist 1-1

## す

ステータスの表示、ワークフロー 3-3

ステータス、ワークフローの表示 3-3

## た

対象読者 v

タスク

オプションの指定 5-2

概要 2-1

実行 2-4

ステータスの変更 2-4

ステータスを保留中に変更 2-5

タスク ステータスを実行済みに変更  
2-4

プロパティの変更 2-2

ログオン ステータスの表示 5-1

タスク オプションの指定 5-2

タスク ステータスの変更 2-4

タスク ステータスを実行済みに変更 2-4

タスク ステータスを保留中に変更 2-5

タスクの再割り当て 2-5

タスクの実行 2-4

タスク プロパティの変更 2-2

## て

テクニカル サポート vii

## ひ

表記規則 vii

## ろ

ログオン タスク ステータスの表示 5-1

## わ

ワークフロー ステータスの表示 3-3

ワークフローの開始 3-1

